

～駅とバス停を一体化し、交通ネットワークを強化～
2020年3月、嵐電「北野白梅町駅」をリニューアルします

京福電気鉄道株式会社(本社：京都市中京区、社長：大塚憲郎)は、2020年3月、嵐電(京福電気鉄道嵐山線)北野線の北野白梅町駅をリニューアルします。

北野白梅町駅は京都西陣の西、嵯峨嵐山地域の玄関口に位置しており、北野天満宮や金閣寺、嵐山へお越しになる観光目的のお客さまをはじめ、京都市北西部の交通拠点のひとつとして、沿線地域にお住いの多くのお客さまにご利用頂いております。

今回のリニューアルは、嵐電天神川駅(2008年)・撮影所前駅(2016年)の新設、西院駅の阪急西院駅との結節・バリアフリー化事業(2017年)に続く、嵐電の交通ネットワーク強化の一環として、駅とバス停との一体化により、嵐山エリアと金閣寺方面とのアクセスルートを明確化すると同時に利便性の向上を図ります。また、老朽化した駅舎(1958年築)の解体、駅施設のバリアフリー化やトイレの美装および洋式化、駅前広場の整備を実施し、地域ならびに観光の拠点として、安心してご利用いただける駅としてリニューアルします。なお、当駅と他に今年度実施する御室仁和寺、宇多野、鳴滝各駅のバリアフリー化工事により、北野線全線のバリアフリー対応が完了いたします。

本取り組みなどをはじめとする交通ネットワーク強化により、京都観光の魅力向上や駅から始まる賑わいの創出のほか、市内バスの混雑緩和に寄与してまいります。

詳細は、別紙のとおりです。



リニューアル後の北野白梅町駅(イメージ)

(別紙)

北野白梅町駅リニューアルについて

(1) 内 容

①交通結節の強化 ～ 駅とバス停との一体化 ～

- ・線形を現在の2番線側のみの1線とし、現在の1番線部分をバス専用の停車スペースとすることで、スムーズな乗り換えを可能とします。
- ・市バス102号系統のルート変更および駅への乗り入れを行うことで、利便性向上を図ります。なお、ホームは西側に約30m延伸します。

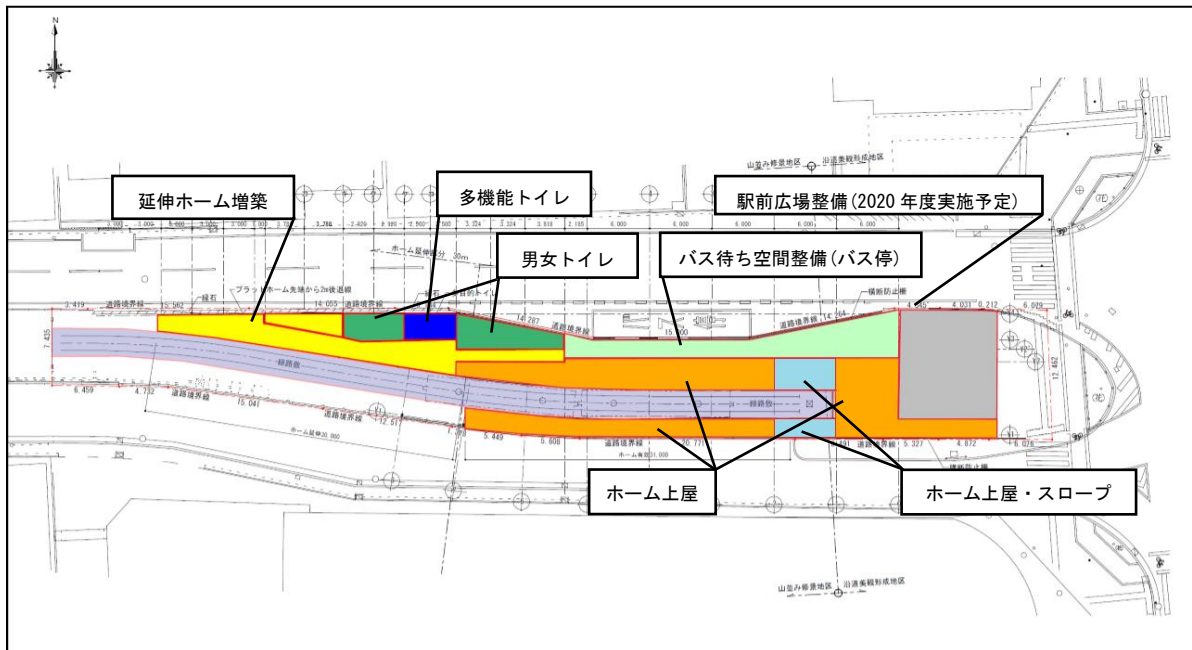
②駅施設の改良 ～ バリアフリー化、トイレのリニューアル ～

- ・既存駅舎を解体し、スロープや点字タイルの整備などバリアフリー化を実施、お客さまが安心してご利用いただける駅として整備します。
- ・トイレは、すべての個室を洋式化することで、高齢のお客さまや近年増加している訪日外国人旅行者のお客さまにも利用しやすいようにリニューアルします。また、お身体の不自由なお客さまを中心にお子さま連れなどの利用も想定した多機能トイレ(2室)を新設します。

③駅前広場の整備(予定)

- ・駅前広場はインフォメーションの開設を含む整備を2020年度に実施します。

(計画平面図)



(2) 工事費

約2億5千万円

(3) スケジュール(予定)

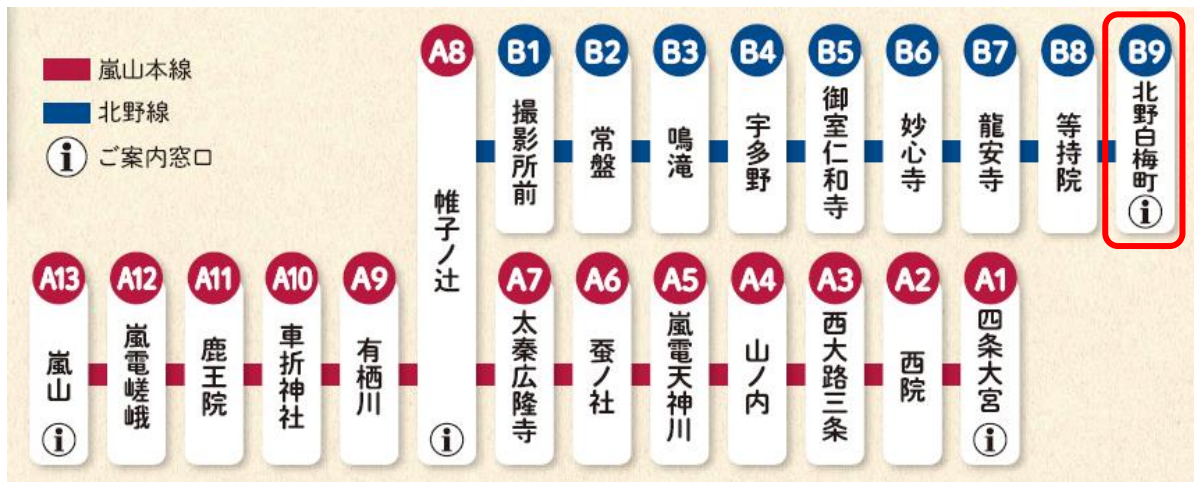
- | | |
|----------|---------------------------|
| 2019年11月 | 着工 |
| 2020年3月 | 竣工(新駅舎、バス停供用開始) |
| 4月以降 | 駅前広場部の整備工事実施(～2020年度完成予定) |

(ご参考)

■北野白梅町駅周辺地図



■京福電気鉄道嵐山線 路線図



以上